

ふるさと名取の歴史展

～埋蔵文化財(土の中の名取)～

Ⅶ-1

「埋蔵文化財」とは？

文化財は、つぎのように大きく分けられます。

- ①有形文化財・・・神社やお寺のような建物など。
- ②無形文化財・・・神社などに伝わるおどりなど。
- ③埋蔵文化財・・・地面の中にある遺跡など。
- ④記念物・・・古蹟やお城のあとなど。

地面の中には昔の人が使っていた道具や住んでいた家のあとなど、生活のあとがたくさん残っています。これらをまとめて「埋蔵文化財」といいます。

しかし、道路や建物などを作るために地面を掘ると埋蔵文化財も一緒に壊されてしまうことがあります。

そのようになる前に、少しずつ地面を掘りながら昔の人々の生活のあとをていねいに調べて記録するのが「発掘調査」です。

今回の展示では、実際の発掘調査の様子について展示するとともに、最近発掘された埋蔵文化財も紹介いたします。

I

遺跡地図

遺跡は土の中に埋まっているものなので、工事などで地面を掘ると壊れてしまいます。

そこで、遺跡がある場所かどうかを工事などをする前に確かめるために「遺跡地図」が作られています。

遺跡地図には、全国のすべての市町村ごとに遺跡の場所がのせてあります。

工事などをする場合には、この地図をもとにして、いろいろな話し合いが行われます。

名取市内には約180か所の遺跡があります。あなたの家の近くにも遺跡があるかもしれませんね。

(「遺跡地図番号ファイル」で確かめてみましょう！)

II

